

竹矢地区第五次地域福祉活動計画

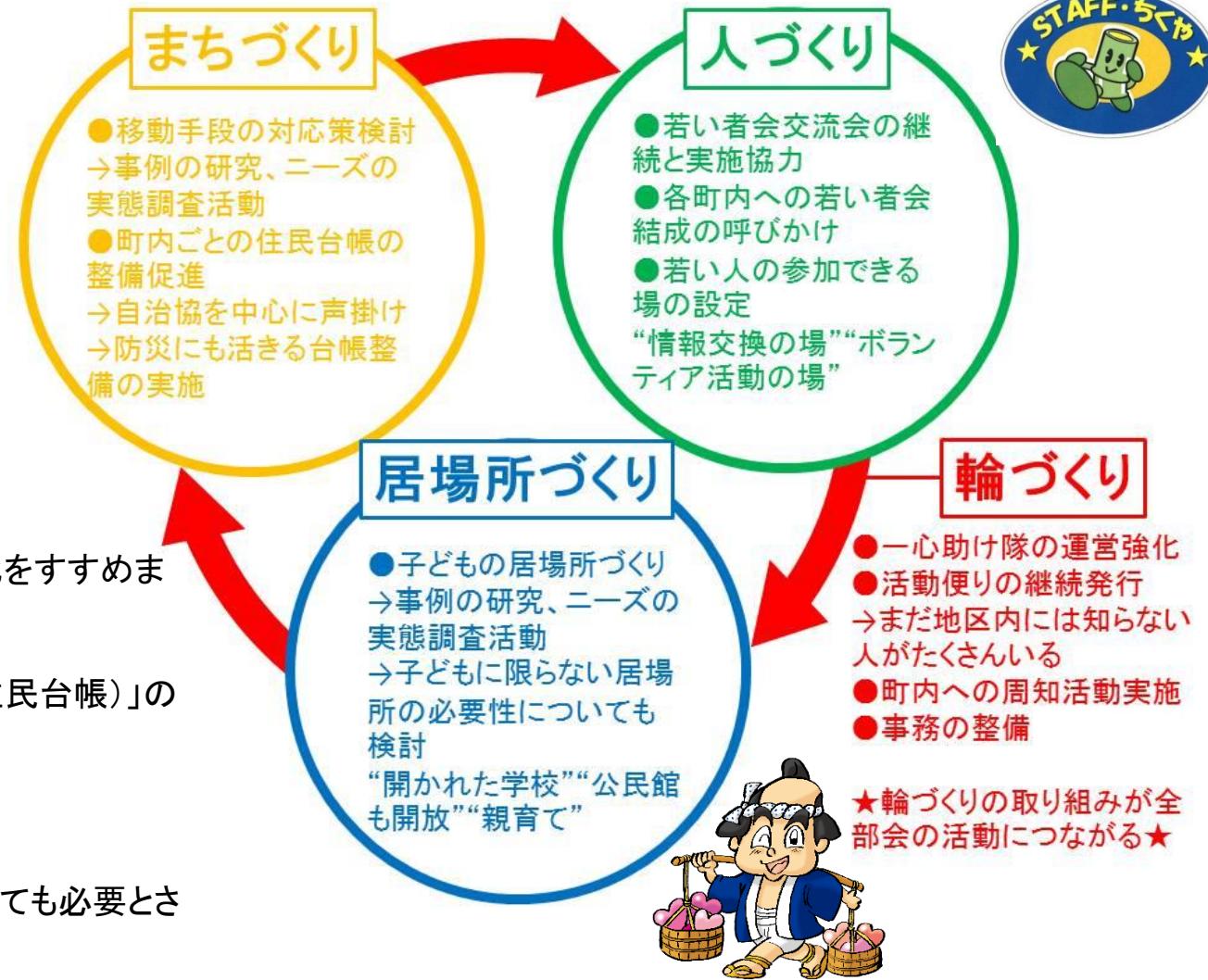
「支えあいましょう！これからの竹矢」



1. 竹矢地区第五次地区地域福祉活動計画の位置づけ(案)
 竹矢地区社会福祉協議会では、毎年ごとに事業計画を作成しています。今回策定した第五次地区地域福祉活動計画は今後5年間の、竹矢地区社会福祉協議会の向かうべき方針を示したものです。この方針に基づきこれから毎年の事業計画を作っていきます。詳細な取り組みについては年度ごとの事業計画の中で取り決め、行っていくこととします。

2. 竹矢の地域福祉活動を支える4つの重点取り組み

- 【輪づくり(部会)】
→地区社協のみならず、地区内関係団体とも連携を図り、一心助け隊の運営強化をすすめます。
- 【まちづくり(部会)】
→自治連との連携により移動手段の対応策検討、町内ごとの「安全・安心台帳(住民台帳)」の整備促進をすすめます。
- 【人づくり(部会)】
→次代を担う若い世代の為に若い者会交流会の継続と実施協力をすすめます。
- 【居場所づくり(新・部会)】
→近年必要性が言われる子どもの居場所づくり、そして子どものみならず誰にとっても必要とされるような居場所づくりをすすめます。



テーマ(部会)	課題(地域の声)	目的	活動名	具体的取組
まちづくり 住み続けたい 安心・安全な	「歳をとって近場の移動にも困るようになった」	先進地の活動と地域のニーズを知る	● 先進事例の研究 ● 地域内のニーズ調査	・研修会の開催 ・先進地視察 ・出前座談会含む実態調査 ・要配慮者支援組織への発展支援
	「隣近所にどんな人が住んでいるのかわからない」	町内ごとの住民情報の把握と整理	● 町内単位の安全・安心台帳(住民台帳)の整備	
ひとづくり 次の世代へ 未来の竹矢へ	「地区内の次世代の担い手を育てないといけない」	若い人同士のつながりをつくる場を確保していく	● 若い者会交流会の継続と実施協力	・若い者交流会の継続支援 ・子どもたちからの地域活動への参加促進(キャンプやスポ少等) ・ふるさと学習の推進
	「ボランティアの担い手が不足はじめています」		● 各町内への若い者会結成の呼びかけ	
居場所づくり 安心できる ほっとする	「地域で居場所を失っている人もいるんじゃないか？」	先進地の活動と地域のニーズを知る	● 先進事例の研究 ● 地域内のニーズ調査 ● 現在実施している活動の継続支援	・先進事例の研究 ・出前座談会含む実態調査 ・継続した居場所の確保と支援(なごやか寄り合い会、よらこい喫茶)
	「一人でご飯を食べている子どももいるんじゃないか？」			
輪づくり ささえあいの みんなの てをつなぐ	「一心助け隊を知らない人はまだまだ大勢いる」	住民の皆さんに活動を知ってもらう	● 広報誌の継続発行	・地区内他団体の広報誌でも紙面を借りて積極的にPRをしていく ・事務の内訳を整理し役割分担をしていく ・出前座談会を通じて各町内へPRしていく
			● 事務の整理	
	● 町内への周知活動			
	「担い手をもっと確保しないといけない」			

3. 今後の流れ(案)

こうした基本方針をもとに今後5年間竹矢地区社会福祉協議会は活動を続けていきます。

年に1度は方針の見直しと進捗の確認作業を行い、次年度の地区社会福祉協議会の事業計画へとつなげていきます。



重点項目